

事業番号	07 04 02	事業改善シート（令和7年度実施事業分）	☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	地域産業の活性化事業	部局	産業労働部	課・室	産業技術課	
		実施期間	S60 ～	E-mail	sangi	@ pref.nagano.lg.jp

1 現状と課題

- ・地域産業の持続的な発展のため、新商品開発や効果的なPR等により、付加価値の向上とブランド力を強化していく必要がある。
- ・伝統的工芸品産業は、需要の減少や、後継者不足等により悪循環に陥っている。
- ・環境意識の高まり、インバウンド需要、高い技術力の再評価等国内外で伝統的工芸品が再注目されつつあるが、県内外の伝統的工芸品は認知度が低い現状である。

2 事業目的

地域資源の高付加価値化や伝統的工芸品の振興を図り、地域産業の活性化を目指す。

3 事業目的を達成するための取組

- ①地域資源の利活用企画・商品化支援
- ・地域資源製品開発支援センター（デザサバながの）に専門家を招聘し、県内中小企業が取り組む地域資源を活用した新商品開発を構想企画からデザイン、情報発信まで支援する。
- ②伝統的工芸品のファンの拡大、後継者の確保・育成、売上の拡大支援
- 長野県伝統的工芸品産業振興方針（R6.3）の3本の施策の柱に基づき以下の取組を展開
- 【ファンの拡大（柱1）】
- ・信州ハンドクラフトフェスタへの出展支援により、手作り品に興味のある様々な人々への魅力発信
- 【後継者の確保・育成（柱2）】
- ・講習会の開催や助成金の活用による後継者育成を支援
 - ・インターンシップの開催や産地留学開催等により後継者・産地関係者の確保を支援
- 【売上の拡大（柱3）】
- ・展示販売会等イベントの企画・開催や、全国催事等への出展支援
 - ・伝統的工芸品産業以外の県内企業による、伝統的工芸品活用を促進
- 【その他（各柱に横串を刺す取組）】
- ・STEAM教材を作成し、県内学生の伝統的工芸品へのタッチポイントを創出
- ③インバウンドの活用・海外展開を見据えた新商品開発支援
- 長野県伝統的工芸品産業振興方針（R6.3）の今後検討すべき視点に基づく取組として展開
- ・研究会やマッチングセミナー開催等により、国内外のニーズにマッチした伝統的工芸品の新商品開発を支援

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R5年度	R6年度		R7年度		R7年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移			
①	地域資源の利活用企画・商品 化件数	件	9	13	↗	4	↘	20	未達成	月1～2件を支援し、年間20件の利活用支援・商品化を目標とする。
②-1	展示販売会出展産地数	件	36	36	→	45	↗	35	達成	県下の伝統的工芸品1産地あたり1回以上の出展を基準に、過去2年の実績を踏まえて目標値を設定。
②-2	技術伝承講習会参加者数	者	68	68	→	90	↗	70	達成	過去2年と同水準の後継者育成支援を実施することを踏まえ、目標値を設定。

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （☆印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年／年度	数値	年／年度	数値	年／年度	数値	年／年度	数値
2-3②	サービス産業等の活力向上	デザサバながの(地域資源製品開発支援センター)による支援件数(2023～2027年度の累計)	件	2023(R5)	121	2024(R6)	231	2025(R7)	285	2027(R9)	450
2-3②	サービス産業等の活力向上	デザサバながの(地域資源製品開発支援センター)の支援による商品化件数(2023～2027年度の累計)	件	2023(R5)	9	2024(R6)	22	2025(R7)	26	2027(R9)	100

6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R7年度	0	41,470	△ 3,332	38,138	32,916	27,206	4.5
R6年度	0	50,068	△ 1,400	48,668	38,617	46,551	4.5
R5年度	0	36,917	0	36,917	26,387	31,254	4.5

事業番号	07 04 02	事業改善シート（令和7年度実施事業分）			□当初要求	□当初予算案	□補正予算案	■点検
事業名	地域産業の活性化事業			部局	産業労働部	課・室	産業技術課	

7 主な取組実績と成果

①地域資源の利活用企画・商品化支援

・地域資源製品開発支援センター（デザサボながの）において、総合プロデューサーを中心とする外部専門家等を交えた支援体制を構築し、構想企画からデザイン、販売促進、情報発信まで地域資源を生かした商品開発を一貫支援した。
（支援による商品化件数：4件）

②伝統的工芸品のファンの拡大、後継者の確保・育成、売上の拡大支援

・国、県指定産地の工芸品や職人が集まる長野県伝統工芸品展を開催し、展示販売や実演・体験を行った（25産地）。
・「長野県手作り打上花火」を製造する事業者にて後継者発掘のためインターンシップを開催し、5名が参加し2名の後継者が誕生した。
・伝統的工芸品産業に新規就業者を定着させるため、事業者と新規就業者に対して助成金を交付した。（3事業者、3名）
・県内8事業者（飲食・宿泊業・製造業）にて伝統的工芸品の魅力発信や知名度向上のため、展示・活用した。
・阿島傘を題材とし、材料・構造・工程・歴史的背景等を、科学（材料・防水の仕組み）、技術（構造や製作技術）、芸術（意匠や美意識）、社会（地域産業・歴史）などの視点から横断的に学習できる教材を作成した。

③インバウンドの活用・海外展開を見据えた新商品開発支援

・専門家を交えた新商品開発研究会を4産地と銀座NAGANOで開催。
・「内山紙」「南木曽ろくろ細工」「木曽漆器」の3産地で伝統的工芸品技術を活用した新たな商品を企画した。

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	地域資源の利活用企画・商品化件数	R6年度推移	↗	R7年度推移	↘	達成状況	未達成
・AIの普及により事業者が自らデザインを企画することが増えてきているため、相談件数、商品化件数は減少した。また、関連団体等（地域振興局、県産業振興機構、市町村団体）とのさらなる連携を強化する中で、パッケージ系のデザインに加えプロダクト系のデザインを手掛けられるように製造業者からの相談件数を増加させることが必要。							
指標②-1	展示販売会出展産地数	R6年度推移	→	R7年度推移	↗	達成状況	達成
・中小企業団体中央会への委託事業の中で、各産地との連携を強化した結果、昨年度を上回る出展数を確保することができた。また、銀座NAGANOを活用したイベントの開催も出展数の増加に寄与した。							
指標②-2	技術伝承講習会参加者数	R6年度推移	→	R7年度推移	↗	達成状況	達成
・中小企業団体中央会による周知等の取組の強化により、熟練技術者による伝統技術、技法の講習会を7産地で39回実施した結果、昨年度を上回る数の参加者となった。							

9 今後の事業の方向性

(1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題

・AIを活用する事業者が増えている中で、AIに頼らない専門性の高い案件（プロダクトデザイン等）の相談を受けることが必要になる。
・商品開発等について、関係機関との連携やPRを強化して相談件数を増やし、事業者のニーズに則した取組を行う必要がある。
・伝統的工芸品産業は、依然として需要減少、後継者及び認知度不足の課題がある。

(2) 事業改善の方策

・「ファンの拡大（ひろげる取組）」「後継者確保・育成（つなぐ取組）」「売上の拡大（のばす取組）」の3本柱により伝統的工芸品産業の課題に対し、総合的に支援施策に取り組む。
・消費者ニーズに沿った新商品の開発等を行うため、委託業者や中小企業団体中央会等と連携し商品開発研究会やテストマーケティングを実施する。
・展示販売会への出展によるファン拡大に取り組むとともに、体験を通じて消費者や後継者候補の開拓を継続して行う。
・産地基盤の強化を図るため、支援員を配置して、産地間の連携促進やバックオフィス業務、課題解決のための相談・助言を実施する。
・海外バイヤー・ホテル等のバイヤーを招聘した商談会の開催等を実施する。

事業番号	07 04 02	細事業一覧（令和 7 年度実施事業分）			□当初要求	□当初予算案	□補正予算案	■点検
事業名	地域産業の活性化事業			部局	産業労働部	課・室	産業技術課	

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
1	地域資源製品開発支援センター事業費		10,751 千円	13,628 千円	10,649 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和 7 年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	企画から商品化までの総合プロデュース	直接	総合プロデューサーを配置し、地域資源活用に取り組む企業に対し、企画から商品化までを支援 総合プロデューサー 1 名配置、支援件数54件		

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
2	伝統的工芸品支援事業費		244 千円	244 千円	244 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和 7 年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	伝統的工芸品月間事業負担金	負担金	伝統的工芸品の普及、PRを図るため、伝統的工芸品月間（11月）を中心に伝産関係機関、国、県が一体となり、作り手と使い手が直接対話、交流できる場を設置 【全国大会：大阪府、地区大会：東京都（負担先：伝統的工芸品産業振興協会、関東ブロック伝産・文化協議会）】 負担金により開催されるイベント：1 か所		

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
3	伝統的工芸品産業地域内循環支援事業		2,200 千円	2,354 千円	688 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和 7 年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	県内企業等の伝統的工芸品を活用した取組を支援	補助金	伝統的工芸品の活用促進を図るため、県内企業等が取り組む、伝統的工芸品を活用した魅力発信に対し補助 補助件数：8 件		

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
4	長野県伝統的工芸品産業振興審議会運営事業		189 千円	103 千円	177 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和 7 年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	審議会の運営	直接	伝統的工芸品産業の振興に関する重要事項について調査審議し、産業労働行政に反映させるため、伝統的工芸品条例の規定に基づき、審議会を開催 審議会開催回数：1 回		

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
5	伝統的工芸品産地育成伴走支援事業		8,047 千円	11,328 千円	9,071 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	技術伝承講習会	委託	伝統技術・技能の継承や多様な担い手確保を図るため、伝統工芸士、卓越技能者などの熟練技能者等を講師とした技術伝承講習会を開催 講習会開催回数：39回		
2	新規就業者の定着促進支援	補助金	伝統的工芸品の製造に携わる新規就業者を対象として、その育成費用を助成 補助事業者数：3事業者		
3	展示販売会等開催・出展支援	委託	伝統的工芸品への関心を高めるため、長野県伝統工芸品展の開催や、信州ハンドクラフトフェスタへの出展を支援 銀座NAGANOにおいて首都圏の人々に対して伝統的工芸品のPRを実施 開催数：6回		

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
6	伝統的工芸品産業産地留学等支援事業		- 千円	- 千円	4,268 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	インターンシップの開催	委託	後継者の発掘を図るため、伝統的工芸品産業事業者の工房でインターンシップを開催 インターンシップ実施産地数：1産地		
2	産地留学の開催	委託	伝統的工芸品産地関係者の増加を図るため、大学生や様々な職業の社会人を対象に産地での体験機会をアレンジ 産地留学開催産地数：1産地		
3	技術PRツール作成	委託	伝統的工芸品の特長的な技術（コア技術）について、映像等で見える化を行い、伝統的工芸品に興味を持つ人材へのPR 見える化実施産地数：1産地		

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
7	伝統的工芸品スクール事業		- 千円	- 千円	1,511 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	伝統的工芸品スクール事業	委託	STEAM教育用の教材を作成し、若年層の伝統的工芸品へのタッチポイント創出 教材開発：1産地		

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
8	伝統的工芸品産業稼ぐ力向上事業		- 千円	- 千円	598 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	マッチングセミナー開催	委託	様々な業種の企業を対象として、伝統的工芸品の技術等について知ってもらうセミナーを開催		
			セミナー参加社数：13社		
2	商品開発研究会開催	委託	他企業や専門家等を交えた研究会を立ち上げ、国内外で評価される伝統的工芸品の新商品を企画		
			商品開発産地数：3産地		
3	販売体制・PR体制構築	委託	伝統的工芸品事業者のECサイト導入に向けた勉強会を開催		
			勉強会開催回数：1回		